

## 高品質な製品提供はASKAの設計力です!

ASKA COMPANYでは、アイディア検討や成形品設計を含めた製品開発が強みです。流動解析や応力解析などのツールを用いながら、経験や知識を活かした新しいものづくりを行っています。今回は新しい製品が出来るまでの流れをご紹介します。

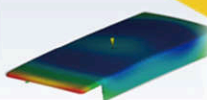
### クライアントとのコミュニケーション 01

ASKAのコーディネーターがクライアントの営業や開発などの組織へ、弊社の様々なプレゼンテーションを行います。



### 設計検討ステージ① 03

イメージをラフスケッチより具体化していきます。生産性や適正品質を考慮し、製品設計を行い、CAEツールを用いて解析を行います。



### クライアントへのプレゼンテーション 05

3DデータよりCGや3Dモデルでの表現やCAEツールを用いてクライアントへのプレゼンテーションを行います。



### 成形品形状の決定 07

製品設計が完了し、クライアントより承認を得て形状を含めた製品仕様が決定します。



### 評価/検収 量産試作 09

歴史を積み重ねて培った評価技術を多用し、評価/検収・量産試作を行います。ラインバリデーション検討を経て、量産となります。



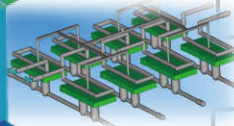
### 02 開発内容の提示

クライアントからの具体的な開発内容が示され、製品仕様の検討依頼を受けた時点で設計がスタートします。



### 04 知的財産の確認

製品設計を行った形状が他社の権利を侵害していないか、また知財の権利化が可能か確認を行います。



### 06 設計検討ステージ②

クライアントの生産ライン適合性やその他ご要望など確認方法を抽出し、更に製品設計を進めます。



### 08 金型製作

金型メーカーと打ち合わせを行い、製品設計図から金型彫り込み寸法図へと進めて起工前に金型品質を作り込みます。



製品開発部門のみの見学も可能です。ご希望の方はお気軽にお声掛けください。



“距離を感じない”

正確で迅速なコミュニケーションを心掛けています！

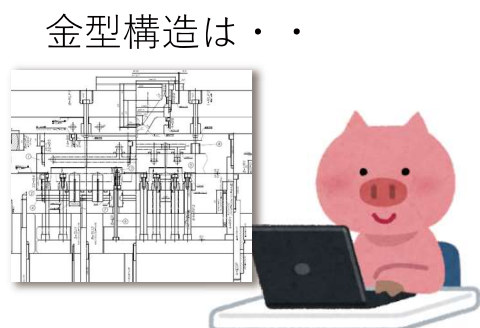
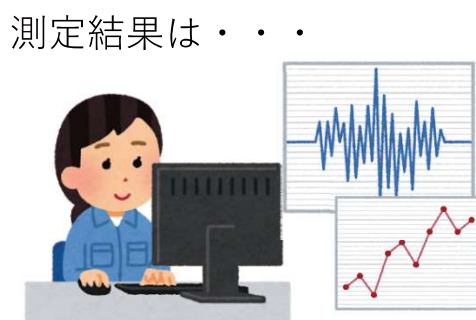
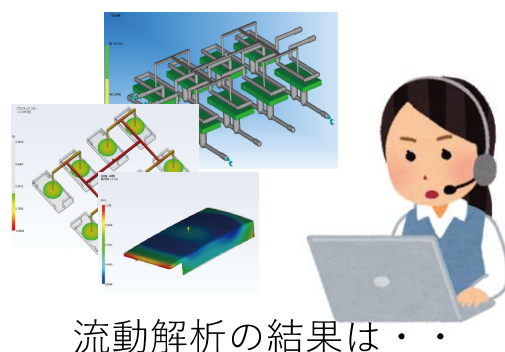
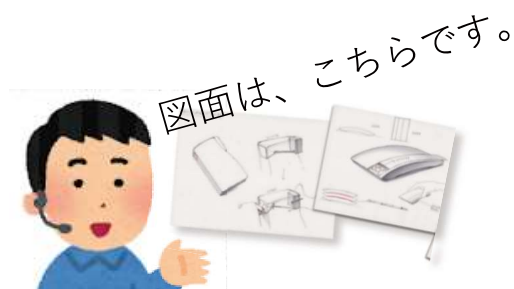
高品質な製品提供を行うためには“クライアントとのコミュニケーション”が重要です。  
弊社ではウェブ打合わせを多くのお客様と行っており、遠方のお客様にもスムーズに対応致します。

ウェブ打合わせとは・・・

Webカメラや資料共有、画面共有機能を利用し、打合わせを行います。



情報共有画面を見ながらコミュニケーションが取れるので、頻繁に行き来出来ない距離にいらっしゃるお客様においても、距離を感じて頂くことはございません。  
また、開発担当と直接打ち合わせを行うことで、希望や要望がダイレクトに伝わり、正確で迅速な意思確認が可能になります。



様々なシーンで活用



関連マーケットニュース

【2017年10月号】 3DCADによる設計のメリット①

【2019年4月号】 3DCADによる設計のメリット②